

水痘（水ぼうそう）ワクチンの接種を希望される方へ

～定期接種対象年齢以外の方（任意接種）用

釧路赤十字病院

水ぼうそうにかかると、基本的には1週間程度の経過で治癒することがほとんどですが、重症な合併症を発症し、入院加療を必要とする場合があります。ワクチンを受けると、水ぼうそうの発病や重症化のリスクを下げるだけでなく、ワクチンを受けたくても受けることのできない妊婦さんや免疫不全患者等に感染を広げないという効果もあります。また、水ぼうそうの発病リスクを下げることにより、将来の帯状疱疹発症にリスクを下げることに繋がると考えられています。

近年、免疫が少ない人、また子どもの頃にワクチンを受けていない人や回数が少ない人等（現在は2回接種ですが、過去には1回のみ接種だった時期があります。）の流行が懸念されています。そこで、免疫が少ない人、ワクチンを受けた事がない（もしくは1回しか受けていない）方は、重い合併症を防ぐと共にワクチンを受けたくても受けることのできな妊婦さんや免疫不全の患者さん等に感染を広げないためにも、ワクチンを受けることが強く勧められています。

ワクチン接種の履歴確認は母子手帳で行うと確実ですが、お手元がない方等のために当院では以下の内容を確認の上、ワクチン接種をするかご本人に決めていただいております。

※他のワクチンを同時に接種することは、医師が必要と認めた場合に限っていますが、当院健診センターで実施する成人の予防接種では実施していません。

【ワクチン接種するかどうかの選択方法】

1. 母子手帳を手元にお持ちの方

1) 水ぼうそうのワクチンを2回うけた記録がある

→ワクチン接種の必要はありません

なお、ワクチンを2回うけても免疫ができない方や低下してしまう方もいます。ご心配な方は抗体の値を測定することもできます。

1種類の抗体を調べるには4,020円（税別）の自己負担が発生します。

2) 水ぼうそうのワクチンを1回うけた記録がある

→ワクチンを1回接種することをお勧めします

2. 母子手帳を手元にお持ちでない方

1) 抗体の値を測定し、値が低ければワクチンを接種する

1種類の抗体を調べるには4,020円（税別）の自己負担が発生します。

結果が出るまでには1週間程度時間がかかります。（予約電話可・結果郵送）

2) 抗体の値を測定しないでワクチンを2回接種する

抗体の値を測定するには、自己負担が発生し、また結果が出るまで時間がかかります。渡航予定等にてお急ぎの方は抗体の値を測定しないでワクチンを接種することが可能です。日本ワクチン産業協会から出版されている予防接種に関するQ&Aには「抗体が陽性の成人にワクチンを接種しても特に問題がない」ことが明記されています。

ワクチンによる副反応は少ないとされていますが、全くない訳ではありません。下記の内容を理解した上でご判断下さい。

※ワクチン接種は事前予約が必要です。抗体価測定も事前予約をお勧めします。

電話 0154-22-7171（釧路赤十字病院 健診センター）

【ワクチン接種際の留意事項】

1. ワクチンをうけることができない人

- 1) 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は水ぼうそうワクチンを受けることができません。水ぼうそう接種後は少なくとも 2 カ月の避妊が必要です。万が一、ワクチンを接種した後に妊娠がわかった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談ください。
- 2) ワクチンをうける 3 カ月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で、重症の感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血をうけたことがある人は、免疫が十分にできませんのでワクチンをうけることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射をうけたことがある人は、6 カ月程度延期する必要があります。
- 3) 生ワクチン：麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG、水ぼうそう、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど
不活化ワクチン：ヒブ、小児用肺炎球菌、インフルエンザ、四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）、三種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風）、二種混合（ジフテリア、破傷風）、不活化ポリオ、日本脳炎、A 型肝炎、B 型肝炎、狂犬病、成人用肺炎球菌ワクチンなど

【接種間隔】

生ワクチン→27 日以上←生ワクチン

生・不活化ワクチン→間隔の規定なし←不活化ワクチン

生・不活化ワクチン（インフルエンザ以外）→14 日以上←コロナワクチン

水ぼうそうワクチンに限ったものではありませんが、

- 4) 接種直前の体温が 37.5℃以上であった人
- 5) 重い急性の病気にかかっている人
- 6) 水ぼうそうワクチンに含まれる成分（接種医におたずねください）でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人
- 7) 接種医がうけない方が良いと判断した場合には、ワクチンをうけることができません。

2. ワクチンをうけるときに注意が必要な人（ワクチンをうけるには、かかりつけの先生と相談する必要があります）

- 1) 先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある人
- 2) これまでの予防接種で 2 日以内に発熱がみられた人、またはアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 3) これまでにけいれんを起こしたことがある人
- 4) これまでに免疫機能に異常（感染症によくかかったり、感染症が重くなったりすることがあります）があると言われたことがある人
- 5) 水ぼうそうワクチンに含まれる成分（接種医におたずねください）でアレルギーを起こすおそれのある人
- 6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 7) 接種当日の体調が普段とちがう人
- 8) 家族や周りで最近 1 カ月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかった人がいる場合
- 9) 最近 1 カ月以内に何か病気にかかったことがある人

3. 水ぼうそうワクチンの効果

水ぼうそうワクチンを1回接種することによって90%以上の方が免疫を獲得しますが、近年は80%台という研究結果も報告されています。2回接種の効果に関しては、国内ではまだ研究が少ない段階ですが、免疫が明らかに高くなったという報告があります。

4. 水ぼうそうワクチンの副反応

水ぼうそうワクチンの主な副反応は、接種局所の発赤・腫脹・発熱・発疹です。その他稀にワクチンを接種した直後から翌日にかけて過敏反応（発疹・蕁麻疹・紅斑・かゆみ・発熱等）が現れることがあります。

これは水ぼうそうワクチンに限ったことではなく、ワクチン全般に言われることですが、稀にうけた後30分以内にアナフィラキシーという重いアレルギー反応や、血管迷走神経反射による顔色不良、気分不良、血圧低下や失神を認める方がいますので、接種後は少なくとも30分間、ワクチンをうけた医療機関などで背もたれのある椅子に座って様子を観察しましょう。

5. その他注意すること

※健常な方がワクチンを接種し、水ぼうそうや帯状疱疹を発症したとしても、その方から他の方へ二次感染した事例はほとんどないと言われています。

ワクチンを接種していない家族が自然に感染し、そこから妊婦さんなどが感染するリスクの方がむしろ高いと考えられます。

※予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

※ワクチン接種当日は入浴可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動を控え、体調をよく観察しましょう。

もし、何か気になる症状がみられた場合は接種医に相談しましょう。

平成30年6月作成

令和6年1月改正